

「Mito UNESCO プラネタリー塾」の開塾にあたって

水戸ユネスコ協会会長 中庭 陽子

今年度、これからの時代を担う若い世代を主な対象として「Mito UNESCO プラネタリー塾」を立ち上げ、異文化理解・国際交流・国際平和・地球環境保護・地域文化遺産保護・SDGs 活動という切り口で6つの講座を用意しました。「平和な世界の実現」と「持続可能な社会の実現」のための行動を、若い世代の皆さんとともに自分事として考えるきっかけにしていきたいと考えております。

第二次世界大戦の惨禍を経験し「二度と戦争を繰り返さない」という決意に基づいてUNESCOが創設されましたが、80年経とうとしている今、各国が自国の防衛を強化せざるを得ない事態が発生し、また、グローバル化が進んだ結果、貿易やエネルギーや移民の問題などで各国の対立が深まっています。また、地球温暖化による気候変動により、洪水・干ばつ・山火事が頻繁に発生し世界各地が大きな災害に見舞われています。ITの発達により、さまざまな情報が飛び交い、世界には「疑惑と不信」そして「不寛容」が加速して広がっています。大きく変わった時代の流れの中で、UNESCO憲章が目指した平和な国際社会の実現が遠のいてしまったかのようです。

プラネタリー塾という名称は「地球の限界」を表す「プラネタリー バウンダリー」という言葉から取りました。地球の回復力を超えて人間が活動をしていると、人間が住めなくなる地球になってしまうと危機が伝えられています。次代を担う若い世代の皆さんには平和で持続可能な世界の実現を目指してほしいという願いを込めました。「Mito UNESCO プラネタリー塾」の講座を通して、多様な文化の理解・人への尊厳・世界の平和の大切さを実感していただけたらうれしいことです。また、市民の皆様には、私たち会員とともに、だれもが安心して暮らせる平和な社会づくりにご協力をいただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

『平和』のために私たちが
日々の生活の中で出来ることは
あるのでしょうか？



あなたにとって「平和」とは？

